

平成 19 年「宇宙の日」記念行事の実施について

平成 19 年 4 月 25 日
研究開発局参事官付
(宇宙航空政策担当)

1992 年の国際宇宙年に際して、次世代を担う青少年を始めとして広く一般の人々の宇宙開発活動に対する理解を深めることを目的として、「宇宙の日」が一般公募により 9 月 12 日に設定された。これを記念し、毎年、「宇宙の日」記念行事を実施しており、平成 19 年「宇宙の日」記念行事の概要は以下の通りである。

1. 全国小・中学生作文絵画コンテスト

全国の科学館 75 館の協力を得て、「月に願いを」のテーマで作文絵画コンテストを実施し、主催者賞(文部科学大臣賞等)及び各科学館賞等の受賞者を決定・表彰する。なお、絵画の部小学生部門の入賞 7 作品は、アジア太平洋地域宇宙機関会議 (APRSAF) が主催するポスターコンテストに出展される 3 作品の候補となる。

- 主催 文部科学省、自然科学研究機構国立天文台、宇宙航空研究開発機構、日本科学未来館、(財)リモート・センシング技術センター、(財)日本宇宙フォーラム、(財)日本宇宙少年団
- 募集期間 平成 19 年 5 月 9 日(水)～7 月 31 日(火)
- 参加対象 全国の小・中学生に在籍している児童・生徒
- 最終審査 創造・想像力、表現力、技術力、知識力を基準と

して、有識者及び各主催者の代表から構成される選考委員会により審査を実施

- 表彰式 平成 19 年 10 月 7 日(日)
(場所:日本科学未来館)

今年度の協力科学館数は全国で 75 館(去年は 72 館)。今年度より協力科学館のない県(10 県)については、事務局(宇宙フォーラム)でも応募を受け付けることとなった。

本コンテストは平成 19 年度「学びんピック」認定大会:
<http://manabinpick.mext.go.jp> 「学びんピック」は、「学び」を競い合い学習意欲向上に資する大会を文部科学省が認定するもので、今年度は 72 大会が認定されている。

宇宙の日ホームページ:
<http://www.jsforum.or.jp/event/spaceday>

2. 「宇宙の日」ふれあいフェスティバル 2007

「宇宙の日」記念行事のメインイベントとして、宇宙飛行士等の参加を得て、「宇宙の日」ふれあいフェスティバル 2007 を開催する。

- 主催 文部科学省、自然科学研究機構国立天文台、宇宙航空研究開発機構、日本科学未来館、(財)リモート・センシング技術センター、(財)日本宇宙フォーラム、(財)日本宇宙少年団
- 開催期日 平成 19 年 9 月 15 日(土)～17 日(月・祝)
- 開催場所 釧路市こども遊学館 他
- 参加対象 小学生、中学生及び保護者
- 開催内容 宇宙飛行士講演会、実験・工作体験、プラネタリウム鑑賞等

3. ふれあい宇宙展 2007

「『宇宙の日』ふれあい月間を中心とした期間、「全国小・中学生作文絵画コンテスト」の受賞作品等を展示する「ふれあい宇宙展 2007」を実施する。

東京(JAXA i)、ふれあいフェスティバル会場、日本科学未来館等において展示。

の人工衛星「スプートニク1号」が打ち上げられた日、10月10日は「宇宙条約」が発効した日である。

(3) 「『宇宙の日』ふれあい月間」について

2000年から「世界宇宙週間」が設定されたことにかんがみ、「宇宙の日」がある9月上旬から「世界宇宙週間」がある10月上旬までの1ヶ月間を「『宇宙の日』ふれあい月間」としている。

2. 全体テーマ

「宇宙へ飛び出せ好奇心！」

3. 主催機関

文部科学省、自然科学研究機構国立天文台、宇宙航空研究開発機構、日本科学未来館、(財)リモート・センシング技術センター、(財)日本宇宙フォーラム、(財)日本宇宙少年団

(参考)

「宇宙の日」記念行事について

1. 経緯等

(1) 「宇宙の日」について

1992年の国際宇宙年に際して、次世代を担う青少年をはじめとして広く一般の人々の宇宙活動に対する理解を深めることを目的として、日本の「宇宙の日」が一般公募により9月12日に設定された。これは毛利宇宙飛行士がスペースシャトルで宇宙に飛び立った日が9月12日であることや、国際宇宙年である1992年の九十二との語呂合わせなどが理由となっている。

(2) 「世界宇宙週間」について

1999年7月、第3回国連宇宙会議において、毎年10月4日から10月10日を「世界宇宙週間」とするという提言がなされ、同年12月、国連総会において正式に決議された。10月4日は世界初

4. 「宇宙の日」ふれあいフェスティバル」の開催実績

平成4年～平成12年 東京都

平成13年 大阪府(万国博ホール)

平成14年 島根県(くにびきメッセ国際会議場、松江テレサ)

平成15年 東京都(日本科学未来館)

平成16年 宮崎市(宮崎市民文化ホール)

平成17年 北九州市(スペースワールド)

平成18年 金沢市(石川県立中央児童館)